

[成果情報名]薄紫ピンク色のスプレーカーネーション有望系統「長崎 Ca6」の特性

[要約]「長崎 Ca6」は、スプレータイプで花色は薄紫ピンク色、丸弁の中生系統であり、「だいたすき」に比べ花径が大きく、花弁数も多く、切り花にボリュームがある。また、2次花柄や不要側枝の発生も少なく、栽培管理や出荷調整時の省力化が期待できる。

[キーワード]カーネーション、スプレータイプ、丸弁

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[連絡先](代表) 0957-26-3330

[区分]花き

[分類]指導

[作成年度]2017年度

[背景・ねらい]

カーネーションは、本県花きの主要品目の一つである。近年、輸入の増加により国際競争が激化し単価が低迷しており、また、燃油価格の高止まりや種苗費の上昇により国内農家の経営は厳しい状況にある。このため、単価向上、種苗費低減による経営改善を目指し、本センターでは2004年度からオリジナル品種の開発に取り組んでおりこれまで5品種を開発しているが、現在は、長崎カーネーションのブランド化に向けた流通量の多い花色の品種の開発、温暖化に対応した耐暑性品種の開発、及び萎凋細菌病抵抗性系統の開発に取り組んでいる。

ここでは、薄紫ピンク色の花色の有望系統である「長崎 Ca6」について、本県オリジナル品種である「だいたすき」と比較してその栽培特性を調査し、長崎カーネーションのブランド化に向け、主要花色であるピンク色において本県オリジナル品種でのシリーズ化を目指す。

[成果の内容・特徴]

1. 「長崎 Ca6」は、本センター所有の優良系統・品種である「長崎 7465」と「あこがれ」を2014年に交配した実生から選抜した系統である。
2. 花色は、薄紫ピンク色（RHS—カラーチャート RED-PURPLE GROUP 62-C）で、花弁は丸弁である（写真1、2）。
3. 切り花長は、11月以降は70cm以上が確保でき、「だいたすき」と同等である。切り花重は、パイプハウスでは11月から、鉄骨ハウスでは12月から40g以上あり、「だいたすき」よりボリュームがある。また、2月までの有効花蕾数は4輪程度である（表1、表2）。
4. 下垂度は、パイプハウスでは11月から、鉄骨ハウスでは1月から1程度となるが、花が大きく重いため、「だいたすき」に比べるとやや劣る（表1、表2）。
5. 1株あたりの採花本数は、2月23日までにパイプハウスで4.3本、鉄骨ハウスで3.1本であり、「だいたすき」の4.9本、3.8本を下回るが、2月23日時点で花芽が確認された1株あたりの側枝数を採花本数に加えると、同程度となる。また、採花開始日が6月15日定植で10月19日、6月21～22日定植で10月28日となり、中生系統である（表1、表2）。
6. 「だいたすき」に比べると、花径は2cm以上大きく、花弁数も40枚以上多く、花にボリュームがある。また、「だいたすき」に比べ、2次花柄数は1本以上少なく、不要側枝数も3本弱少なくなり、栽培管理や出荷調整時の省力化に繋がる（表3、写真1）。
7. 花持ちは、「だいたすき」に比べ、前処理有りでは同等、無しでは2日長くなる（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 「長崎 Ca6」は、現地試験において冬季の加温温度の不足等が原因と考えられるがく割れが発生した事例があるため、ハウス内の温度管理に注意を要する。
2. 現地において、定植が遅いと年内の採花が遅れた事例があるため、6月中に定植を行う。
3. 鉄骨硬質フィルムハウスの被覆資材は、紫外線カットである。
4. 2018年に品種登録出願を目指している。

[具体的データ]



写真1 「長崎Ca6」(左)と「だいすき」(右)の花型と花色



写真2 「長崎Ca6」の草姿

表1 「長崎Ca6」の月別の切り花品質及び収量(2016年度)

系統名	採花開始日	月	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	有効花蕾数 (輪)	下垂度	採花本数/株 月別 (本)	採花本数/株 累積 (本)
長崎Ca6	10月28日	10月	68.5	39.5	4.5	1.0	0.2	0.2
		11月	70.3	43.1	4.0	1.7	1.9	2.1
		12月	72.7	47.7	3.8	1.5	0.6	2.7
		1月	77.2	56.2	4.6	1.0	0.5	3.2
		2月	74.8	60.0	4.3	1.0	0.6	3.8
		3月	80.1	89.3	5.9	1.0	0.9	4.7
		4月	79.1	95.1	5.3	1.0	1.6	6.3
		5月	85.7	113.7	6.0	1.0	0.3	6.6

※1: 2017年5月12日まで調査。

※2: 下垂度は、切り花先端から50cmの位置で水平に保持し、下垂した角度。0~10°を1とし、90°までを9段階に分類した数値。

表2 「長崎Ca6」と「だいすき」の月別の切り花品質及び収量(2017年度)

ハウス規格	系統・品種名	採花開始日	月	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	有効花蕾数 (輪)	下垂度	採花本数/株 月別 (本)	採花本数/株 累積 (本)	花芽形成側枝 (本)
鉄骨硬質フィルム	長崎Ca6	10月19日	10月	76.2	36.7	3.9	2.8	0.5	0.5	-
			11月	82.0	38.7	3.5	2.4	0.5	1.0	-
			12月	83.1	42.0	3.5	2.3	0.6	1.6	-
			1月	86.4	46.4	3.7	1.4	0.8	2.5	-
			2月	94.1	53.4	3.9	1.1	0.7	3.1	1.8
			10月	-	-	-	-	0.0	0.0	-
			11月	86.0	29.7	4.2	1.1	0.4	0.4	-
			12月	89.7	33.3	4.5	1.0	1.6	2.0	-
	だいすき	11月21日	1月	88.0	34.8	4.5	1.0	1.3	3.3	-
			2月	92.5	41.2	5.2	1.0	0.5	3.8	1.1
			10月	72.3	40.0	4.3	3.0	0.1	0.1	-
			11月	76.5	44.1	3.6	1.7	1.2	1.3	-
			12月	77.2	46.3	4.0	1.8	1.0	2.3	-
			1月	79.9	52.7	3.9	1.3	1.4	3.7	-
パイプハウス	長崎Ca6	10月28日	2月	83.9	61.5	4.3	1.0	0.7	4.3	1.9
			10月	68.0	32.0	5.0	1.0	0.0	0.0	-
			11月	78.7	37.4	5.0	1.0	1.5	1.5	-
			12月	78.7	38.3	4.8	1.0	2.3	3.8	-
	だいすき	11月6日	1月	79.6	45.6	5.1	1.0	0.8	4.5	-
			2月	82.2	55.2	5.0	1.0	0.4	4.9	1.3

※1: 2018年2月23日まで調査。2月23日に花芽を形成した側枝数を調査。

表3 「長崎Ca6」と「だいすき」の切り花形質及び花持ち(2017年度・パイプハウス)

系統・品種名	花径 (cm)	花弁数 (枚)	花梗長 (cm)	二次花柄数 (本)	二次花柄長 (cm)	不要側枝数 (本)	花持ち日数	
							無処理	前処理
長崎Ca6	6.4	79.7	10.9	0.8	3.3	0.45	12.2	13.2
だいすき	4.4	34.2	10.4	2.0	3.3	3.30	10.2	13.2

※1: 花の品質は12月4日~2月8日採花の切り花から8本を抽出し調査。

※2: 不要側枝数は12月13日~2月8日採花の切り花から40本を抽出し調査。

※3: 花持ち調査は12月15日~1月5日採花分で行った。無処理区は水道水、前処理区はクリザールK-20C1000倍液に4°Cで10時間水揚げ後、外花弁が水平状態の開花ステージで採花した花を用い室温25°C、湿度60%、1000lux12時間日長に設定した恒温室内で調査した。

※耕種概要(長崎県農林技術開発センター)

年度	ハウス規格	調査株数	定植日	栽植様式	栽植密度	一次摘心	二次摘心	三次摘心	加温機	採花
2016年	ビニールパイプ	10本	6月22日	隔離ベンチ	14,000株/10a	7月13日	8月下旬	9月下旬	12°C	2輪
2017年	鉄骨硬質フィルム	24本	6月15日	10×10cm7目		7月11日	~	~	加温	設定
	ビニールパイプ	24本	6月21日	ネット2条植え	7月13日	9月上旬	10月上旬	設定		

[その他]

研究課題名: 温暖化に対応したカーネーション新品種の育成

予算区分: 県単

研究期間: 2014~2018年度

研究担当者: 竹邊丞市、植松紘一、渡部美貴子